

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120－094－777（通話料無料）

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



当社クリーンルーム工場内のPIコーター全形です

様々な環境変化に対応するため、 各関連分野への新たな展開ができるよう 開拓を推進いたします。



2024年4月

代表取締役社長 山本 晋宏

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（2023年2月1日から2024年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へと移行し社会・経済活動の正常化が一段と進展したことに伴い、緩やかな回復傾向がみられました。一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域の地政学的リスクの高まり、中国経済の減速、円安の進行に伴う物価上昇など先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、プリント基板分野においては前連結会計年度の受注実績を順調に売上高へ繋げた一方でパソコンやスマートフォンなどの主要な民生機器需要、及びデータセンター投資も減速したことから半導体向けパッケージ基板の需要が減少し、当社装置の受注実績が減少しております。液晶関連分野におきましても液晶パネルの需要が減少し、中国においても現地経済の減速に伴い電子部品実装需要が調整局面に入っております。

このような環境変化に対応するため、当社グループの持つインクジェット塗布技術を液晶関連分野以外の半導体、電子デバイス、エレクトロニクス関連分野など有望な分野へ展開できるよう開拓を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、 会社と社員の永遠の幸福を目指します。

I 世界一の技術集団として
永遠の成長を目指します

II 「人」を大切にし、
活躍の場を提供します

III 地域に根ざした企業活動を通じ、
経済社会に貢献します

経営哲学

倫理観の共有

企業文化・風土

コンプライアンス
内部統制・コーポレートガバナンス

企業価値の向上

ビジョン

高収益の技術集団

会社方針

顧客を継続的に創造し、社員に夢を持たせる
安定と成長、キャッシュ・フロー経営の強化

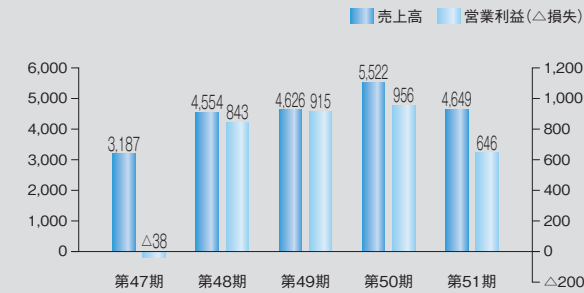
- ①製造業の原点回帰（実行力）
- ②適時、適材、適所
- ③ボーダレス経営
- ④事業の選択と集中

電子機器部品製造装置

売上高
46億49百万円 前連結会計年度比 **15.8%** ↓

営業利益
6億46百万円 前連結会計年度比 **32.4%** ↓

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）

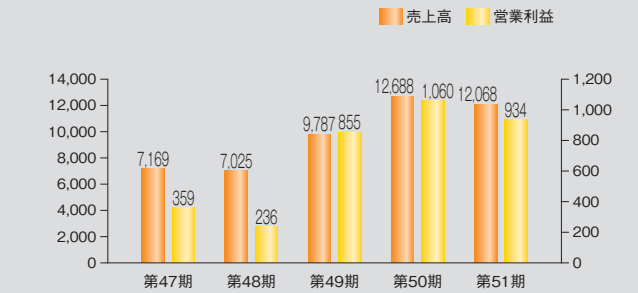


ディスプレイ及び電子部品

売上高
120億68百万円 前連結会計年度比 **4.9%** ↓

営業利益
9億34百万円 前連結会計年度比 **11.9%** ↓

売上高／営業利益（単位：百万円）



プリント基板分野

●前連結会計年度の高水準の受注残高を順調に売上高へと繋げ、売上高は前連結会計年度を上回りましたが、足元では半導体向けパッケージ基板の需要減少に伴い顧客の設備需要が減少しております。

液晶関連分野

●巣ごもり需要の終了に伴う液晶パネル需要の減少からパネルメーカーの生産調整が続いており、生産消耗品、液晶パネル製造装置の販売がともに減少したため売上高は前連結会計年度を下回りました。

その結果、売上高は46億49百万円（前連結会計年度比15.8%減）、営業利益は6億46百万円（前連結会計年度比32.4%減）となりました。

○プリント基板分野



FBR研磨機

HS研磨機



水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

○液晶関連分野



インクジェットコーター

ウエハ対応インクジェット塗布装置

[主要製品]

- HS研磨機 ● FBR研磨機 ● インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機 ● 超音波洗浄機
- ウエハ対応インクジェット塗布装置
- セラミックジェットスクラブ機 ● 極薄基板用水洗乾燥機
- 水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

自動車向け印刷製品

●新規量産品の受注を獲得し、前連結会計年度と比較して売上高は増加いたしました。

工作機械及び産業用機械向け操作パネル

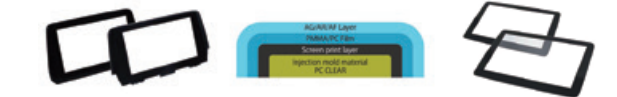
●電子部品等の部材の調達難が部分的に解消され売上高は前連結会計年度と比較し増加いたしました。足元では顧客の生産調整が続き、受注実績は減少しております。

その他

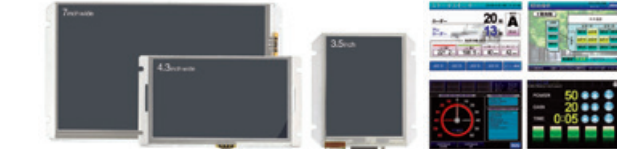
●JPN,INC.は、顧客に生産調整の動きがあり前連結会計年度と比較して減収減益となり、上海賽路客電子有限公司におきましても、中国経済の減速に伴い電子部品実装需要が減少したことから前連結会計年度と比較して減収減益となりました。

その結果、売上高は120億68百万円（前連結会計年度比4.9%減）、営業利益は9億34百万円（前連結会計年度比11.9%減）となりました。

○オートモーティブ製品



○GOP液晶システム



○メンブレンスイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板



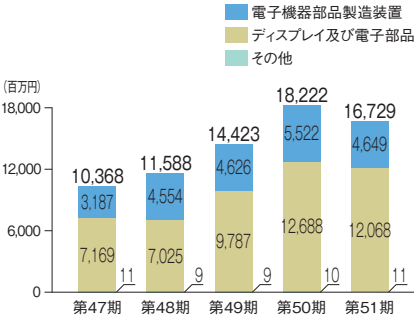
財務ハイライト

Financial Highlights

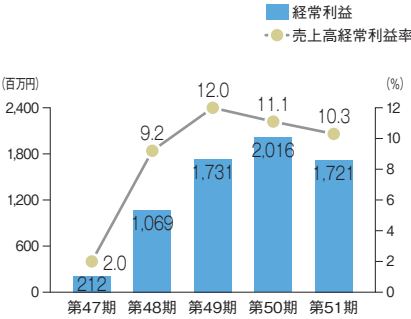


	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
売上高 (千円)	10,368,079	11,588,490	14,423,708	18,222,306	16,729,291
営業利益 (千円)	321,169	1,078,945	1,770,842	2,015,922	1,580,384
経常利益 (千円)	212,467	1,069,725	1,731,031	2,016,716	1,721,384
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	105,274	726,854	1,490,743	1,639,794	1,101,345
純資産額 (千円)	3,056,551	3,672,922	5,463,948	7,422,308	8,686,407
総資産額 (千円)	12,257,259	12,388,300	13,487,001	16,238,801	16,681,725
1株当たり純資産額 (円)	374.89	450.50	670.18	910.39	1,065.44
1株当たり当期純利益 (円)	12.91	89.15	182.85	201.13	135.09
総資産当期純利益率 (ROA) (%)	0.86	5.87	11.05	10.10	6.60

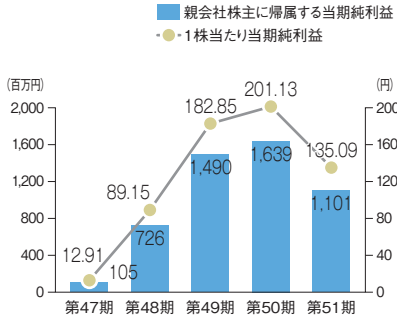
事業の種類別売上高



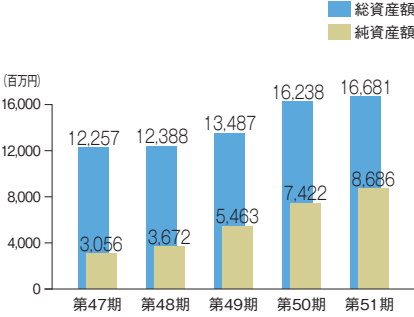
経常利益／売上高経常利益率



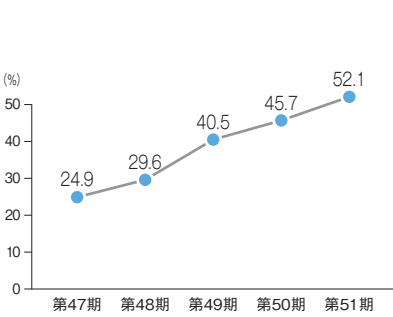
親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



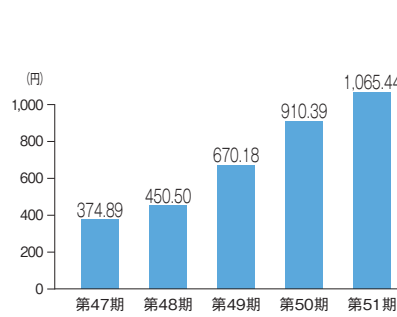
総資産額／純資産額



自己資本比率



1株当たり純資産額



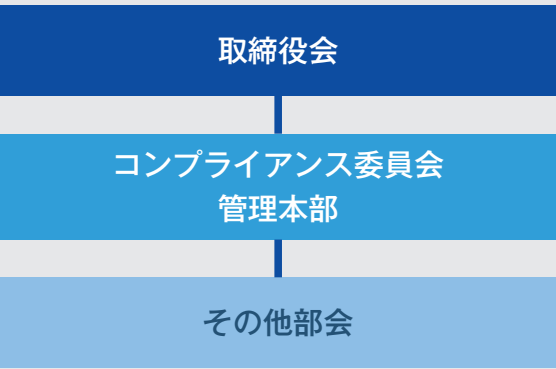
サステナビリティに関する考え方及び主な取組み



当社グループは事業活動を通じて持続可能な社会に貢献するとともに、企業価値向上を目指していくことが重要であると考えております。気候変動が事業の持続的な成長へ影響を及ぼすとの認識から「気候変動」と、また企業の最大の資源は人であるとの認識から「人的資本」の2点をマテリアリティ（重要課題）として取組みを進めております。

ガバナンス

常務取締役所管の管理本部及びコンプライアンス委員会で取組状況の審議、協議を行っております。審議、協議された重要課題は取締役会に報告され、取締役会が重要課題について監督を行います。



戦略、取組内容

リスク管理	指標及び目標	取組内容
気候変動	省エネルギーの実現によりCO ₂ 排出量の削減	再生可能エネルギーの利用推進、LED照明への切り替えなどの省エネルギーの実現
人的資本	社員が安心、安全に働ける職場環境の実現	・健康経営の推進 ・短時間勤務制度、時間有休制度 ・異動の自己申告制度 ・人材の多様性確保 など

連結貸借対照表			(単位：千円)
科 目	当期末	前期末	
	(2024年1月31日現在)	(2023年1月31日現在)	
(資産の部)			
流動資産	11,064,967	10,500,517	
固定資産	5,616,757	5,738,283	
資産合計	16,681,725	16,238,801	
(負債の部)			
流動負債	5,451,191	5,956,511	
固定負債	2,544,126	2,859,981	
負債合計	7,995,317	8,816,492	
(純資産の部)			
株主資本	8,054,585	7,034,787	
資本金	300,000	300,000	
資本剰余金	1,107,799	1,107,799	
利益剰余金	6,667,049	5,647,232	
自己株式	△ 20,263	△ 20,244	
その他の包括利益累計額	631,822	387,521	
純資産合計	8,686,407	7,422,308	
負債純資産合計	16,681,725	16,238,801	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- 1

負債合計

短期、長期借入金の合計額が2億84百万円増加したものの、支払手形及び買掛金の残高が9億40百万円減少したことなどから前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少しました。
- 2

純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益を11億1百万円計上したこと、為替換算調整勘定が2億30百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ12億64百万円増加しました。この結果自己資本比率は6.4ポイント増加し52.1%になりました。

連結損益計算書			(単位：千円)
科 目	当期	前期	
	(2023年2月 1 日から 2024年1月31日まで)	(2022年2月 1 日から 2023年1月31日まで)	
売上高	16,729,291	18,222,306	
売上原価	12,674,927	13,818,796	
売上総利益	4,054,363	4,403,509	
販売費及び一般管理費	2,473,979	2,387,587	
営業利益	1,580,384	2,015,922	
営業外収益	227,915	141,610	
営業外費用	86,915	140,816	
経常利益	1,721,384	2,016,716	
特別利益	3,103	2,099	
特別損失	211,311	533	
税金等調整前当期純利益	1,513,176	2,018,282	
法人税、住民税及び事業税	277,686	220,305	
法人税等調整額	134,144	158,182	
当期純利益	1,101,345	1,639,794	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,101,345	1,639,794	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- 3

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益

当社において減収減益となったことに加え、連結子会社のJPN, INC.では印刷量産製品の顧客に生産調整の動きがあったこと、上海賽路客電子有限公司でも中国経済の減速に伴い、電子部品実装需要が減少したことなどから、ともに減収減益となり、グループ全体で前連結会計年度と比べ減収減益となりました。

個別貸借対照表			(単位：千円)
科 目	当期末 (2024年1月31日現在)	前期末 (2023年1月31日現在)	
(資産の部)			
流動資産	5,629,153	4,930,407	
固定資産	4,758,466	5,045,257	
資産合計	10,387,620	9,975,665	
(負債の部)			
流動負債	4,080,275	3,859,212	
固定負債	1,728,291	2,220,463	
負債合計	5,808,566	6,079,675	
(純資産の部)			
株主資本	4,559,191	3,895,923	
資本金	300,000	300,000	
資本剰余金	1,068,072	1,068,072	
利益剰余金	3,211,381	2,548,095	
自己株式	△ 20,263	△ 20,244	
評価・換算差額等	19,862	66	
その他有価証券評価差額金	19,862	66	
純資産合計	4,579,053	3,895,989	
負債純資産合計	10,387,620	9,975,665	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- 4

流動資産

当事業年度後半にプリント基板分野の国内装置販売が増加し、売掛金及び受取手形並びに電子記録債権が7億31百万円増加したことなどから、前事業年度末に比べ6億98百万円増加しました。

個別損益計算書			(単位：千円)
科 目	当期 (2023年2月 1 日から 2024年1月31日まで)	前期 (2022年2月 1 日から 2023年1月31日まで)	
売上高	7,699,398	8,435,869	
売上原価	5,412,549	5,934,038	
売上総利益	2,286,849	2,501,831	
販売費及び一般管理費	1,677,768	1,673,338	
営業利益	609,081	828,492	
営業外収益	654,453	467,738	
営業外費用	67,191	146,785	
経常利益	1,196,343	1,149,445	
特別利益	2,445	—	
特別損失	209,464	512	
税引前当期純利益	989,324	1,148,933	
法人税、住民税及び事業税	168,095	177,163	
法人税等調整額	76,413	△ 2,625	
当期純利益	744,815	974,395	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- 5

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益

受取配当金の増加、為替差益の計上などから経常利益は前事業年度と比べ増益となりましたが、液晶分野において液晶パネルの需要減少から生産消耗品、液晶パネル製造装置の販売がともに減少したこと、特別損失に有形固定資産の減損損失を計上したことなどから、売上高、営業利益、当期純利益は前事業年度と比べ減収減益となりました。

(2024年1月31日現在)	
商号	株式会社石井表記
設立	1973年4月
資本金	300,000,000円
本社	広島県福山市神辺町旭丘5番地
営業所	東京営業所（東京都板橋区） 千葉営業所（千葉縣市川市） ※2024年4月から東京営業所へ統合 横浜営業所（神奈川県川崎市） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） 明石営業所（兵庫県明石市） 広島営業所（広島県安芸郡） ※2024年4月から本社の福山営業所へ統合
従業員数	322名（連結 667名）
関係会社	国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI（SUZHOU）CO., LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国）



ホームページのお知らせ
<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

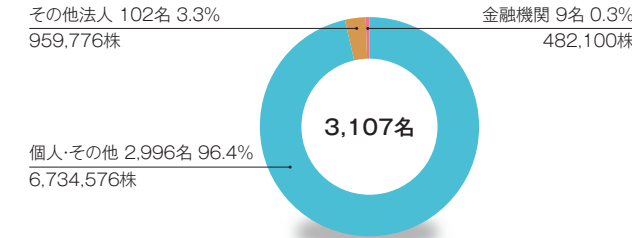
ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

取締役及び監査役（2024年4月23日現在）

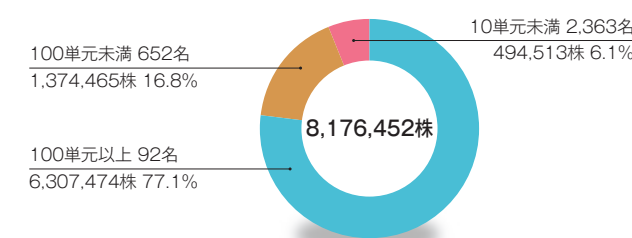
代表取締役会長	石井 峯夫
代表取締役社長	山本 晋宏
常務取締役	松井 忠則
取締役	岩永 浩司
取締役	松井 誠治
取締役（社外）	石井 裕工
取締役（社外）	本田 祐二
常勤監査役	渡邊 伸樹
監査役（社外）	森末 辰彦
監査役（社外）	松岡 清史

(2024年1月31日現在)

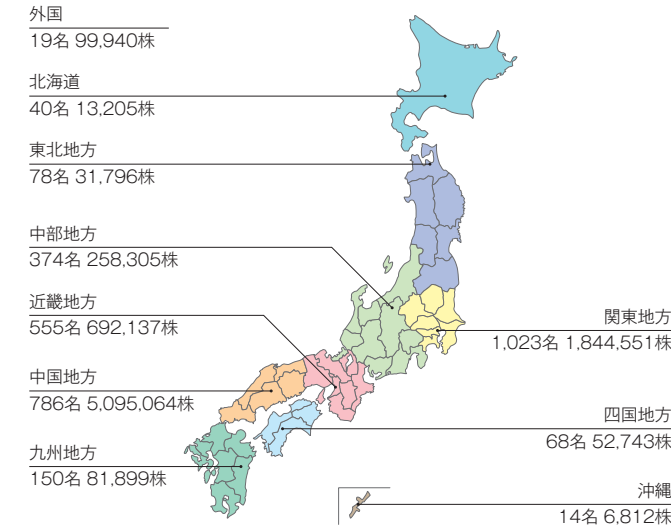
所有者別株主分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



発行可能株式総数	31,644,909株
発行済株式総数	8,176,452株
株主数	3,107名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
石井 峯夫	1,966,046 株	24.11 %
石井 敏博	615,000	7.54
イシイヒョーキ従業員持株会	579,666	7.11
石井 幸蔵	167,060	2.05
石井 博幸	161,380	1.98
株式会社三菱UFJ銀行	144,000	1.77
石井 朋子	138,240	1.70
大和証券株式会社	133,500	1.64
大 善 彰 総	118,000	1.45
株式会社広島銀行	110,000	1.35

（注）持株比率は自己株式（23,607株）を控除して計算しております。